

高等学校学習指導要領との関連性や接続性

都市生活学部

都市生活学部での学修と、高等学校における教科等（現行の学習指導要領による標準的な教科等と科目名称を記しています）との関連性や接続性について以下に示します。

なお、普通科でも特色あるコースやクラスなどで学習している場合、専門教育を主とする学科や総合学科などの場合、現行の高校3年生とは異なる学習指導要領を適用している場合などにおいては、それら学習内容を下表に概ね当てはめながら考察してください。

学習指導要領 令和4(2022)年度 高校3年生の場合		入学前に学習しておくことが望ましい内容／教科等との関連性や接続性
教科等	科目	
国語	国語総合 国語表現 現代文A 現代文B 古典A 古典B	都市生活学部の学修では、都市生活の質の向上のために、都市生活者の抱える問題やニーズを社会調査とデータ分析等で明らかにしたうえで、情報技術やデザイン手法による問題解決策を提示する企画力と実践力を持つ人材の育成を目指しています。 調査の企画や問題の解決に向けた都市生活者とのコミュニケーション、合意形成プロセス、プレゼンテーションの一連の流れを支える知識・技能として「国語」教科の履修は重要であり、必修科目「国語総合」のみならず、複数学年にわたり 継続的に複数の科目を履修 していることが望まれます。
地理歴史	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B	都市生活学部の学修では、様々な形態の都市とその生活を学習・研究のテーマとしており、日本国内の大都市から小・中規模の地方都市はもとより、世界の都市に至るまで様々な都市を扱っています。 対象都市における都市生活の質向上に向けて、その風土や歴史を大局的かつ精緻に見る知識と能力が重要であり、地理や歴史に関する知識は、都市生活学部での学修の基礎にもなります。 そのため、特に「地理歴史」教科は重要であり、複数学年にわたり 継続的に複数の科目を履修 していることが望まれます。
公民	現代社会 倫理 政治・経済	都市生活学部の学修では、基礎的な教養として、現代社会や生活における仕組みや課題を理解していることが重要です。 そのため、「 公民 」教科の 学びは大切 であり、履修した科目については内容を深く理解していることが望まれます。
数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学活用	都市生活学部の学修では、全ての学生がコンピュータを用いたデザインスキルを学び、都市問題の解決方法を視覚的にまとめ、効果的に社会へ提示できる人材の育成を目指しています。 また、選択科目として構造計算関係科目や、データサイエンス関係科目もあり、これらに関連する基礎として「数学」教科は重要であり、「 数学Ⅰ 」「 数学Ⅱ 」「 数学A 」「 数学B 」を履修していることが望まれます。
理科	科学と人間生活 物理基礎 物理 化学基礎 化学 生物基礎 生物 地学基礎 地学 理科課題研究	都市生活学部の学修では、科学に関する豊かな教養も身につけ、都市における自然や生物との共生方法も学んでいきます。 そのため、「理科」教科においては、 複数の科目の履修 とともに科学への関心を高めておくことが望まれます。
保健体育	体育 保健	都市生活学部の学修を進めるうえでは、「保健体育」教科を通じて、心と体を一体としてとらえ、自己の状況に応じて体力の向上を図り、 健康を適切に管理する資質や能力 を身につけていることが望まれます。
芸術	音楽Ⅰ～Ⅲ 美術Ⅰ～Ⅲ 工芸Ⅰ～Ⅲ 書道Ⅰ～Ⅲ	都市生活学部の学修を進めるうえでは、「芸術」教科を通じて、芸術文化についての理解を深めるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、 都市生活学部の学修全般にも有効な資質や能力 として身につけていることが望まれます。
外国語	コミュニケーション英語基礎 コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語会話	環境学部の学修では、外国語科目として英語を中心に8単位を修得します。 また、専門分野として世界の都市についても学びます。グローバルに広がる都市人口の増加を背景に、日本の都市生活に関わる技術や知識・情報を世界に広めていくことも求められており、英語による的確な情報伝達的能力も重要です。 これらの学修のためにも、「外国語」教科の、特に「英語」は重要であり、必修科目「コミュニケーション英語Ⅰ」のみならず、 3学年継続的に複数の科目を履修 していることが望まれます。
家庭	家庭基礎 家庭総合 生活デザイン	都市生活学部の学修を進めるうえでは、「家庭」教科を通じて、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を体得し、 都市生活学部の学修全般にも有効な資質や能力 として身につけていることが望まれます。
情報	社会と情報 情報の科学	都市生活学部の学修では、「情報」に関連する科目を必修または選択科目として履修します。 これらの学修のためにも「 情報 」教科は 重要 であり、科目の履修とともに情報技術への関心を高めておくことが望まれます。
総合的な学習の時間		横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につけているとともに、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を身につけていることが望まれます。